

事業所における自己評価総括表

○事業所名	氷見市障害者福祉センター我家			
○保護者評価実施期間	令和8年1月12日～令和8年1月23日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和8年1月12日～令和8年1月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・入浴サービスの提供（月曜日・水曜日）	・入浴サービスを通して、介護者の介護負担の軽減を図る事は勿論の事、利用児童のご兄弟とゆっくり入浴できる時間を設ける事で、兄弟支援もと考えている。 ・利用児童一人ひとりの身体的な状況や成長に応じて、安全に快適に入浴して頂けるよう配慮している。 ・月8回を超えての入浴については事業所負担で提供した。	・現在、2回/週の入浴サービスを行っているが、保護者の方々からは、もう1日（金曜日）も入浴サービスを提供してもらえたという声を頂いているが、この入浴支援加算が月8回までと回数制限があることと、9回目以降からは事業所負担によるサービスの提供となる為、ニーズと制度に矛盾を感じており、検討や調整が必要である感じている。
2	・自事業所内で作る食事の提供	・毎日、2名の調理員が時間差で勤務し、地元の食材や富山県産のお米を使用して、昼食を提供している。検食は毎日3名体制で行い、味や食材の固さ等を検査し、調理員に伝え、利用児童一人ひとりに合った形態での提供を行っている。	・全ての曜日に、お肉がメインの日とお魚がメインの日、デザートがつく日、手作りおやつの日等献立の立案にも配慮している。献立は、毎月、栄養士に見ていただき、内容についてアドバイスを頂き、立案に生かすように取り組んでいる。
3	父母サロンの開催（2回/年）	・今年度、念願だった父母サロンを2回開催することが出来た。1回目のサロン時には、児童に合ったオムツのサイズや選び方、当て方等を学ぶミニ研修会も併せて開催。おむつフィッターの資格をもつ作業療法士が講師を務め、現在使用中のおむつについて振り返りながら学んで頂いた。サロン時は児童をスタッフがお預かりし、市内の氷見ラボ水族館にスタッフと共に外出する等し、サロン活動を後押しした。	・児童の成長に伴い、家庭での介護負担や親のレスパイトの充実等まだまだ課題が山積しているが、サロン活動を通して、重症心身障害児や医療的ケア児の保護者の方々の思いや日々のご苦労等についてを共有できる場として次年度以降も開催頻度や時間なども検討しながら充実させていきたいと考えている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	11) 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が持てていない。	7年度は、自施設の20周年記念イベントを開催。地域の方々にもスタッフ総出でチラシ配りをし、当日、沢山の方々にお越しいただいた。中には、子供さん連れの地域の方もおられた。また、秋祭りに地域の獅子舞が施設を訪問して下さり、利用者・利用児・スタッフみんなで獅子舞演舞を楽しんだ。その際にも地域の子ども達の演舞を楽しんだり、一緒に写真撮影する等の交流は行ったが、利用児童家族への情報周知がうまく機能していないと気付かされた。	活動の機会を持っているのに、情報の発信や周知が上手く機能していない事で評価が変わって来る為、今後は、情報の発信をしっかりと行いつつ、情報の周知・徹底を図っていかないといふ。
2	21) 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信できていない。	情報の発信が課題であり、タイムリーに情報発信が出来ていない事が課題である。	来年度以降、SNS等を活用した情報発信についても検討し、いかに個人情報を守りつつ、タイムリーに情報を発信していくかを検討・実施していきたい。
3	23) 事業所では、自己防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 24) 事業所では非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23) マニュアル等は策定されているが、保護者にまで周知・説明されていなかった。年2回の防火訓練と同じく年2回の防災訓練を実施しているが、情報の発信が課題となっている。 24) 定期的な避難訓練などを行っているが、情報の発信がかなりとなってる。	情報の発信には、必要な情報機器や発信を担う職員及びスキルが求められる。今回、弱みであると思われる内容の全てにおいて情報の発信や情報の周知・徹底がなされていないことが浮き彫りになってきている為、来年度、法人としてもどの様にタイムリーな情報の発信を行う為のスキルを身につける等も研修センター等で検討していきたい。